平成３０年度

柏原市の統一的な基準による財務書類について

柏原市財務部財政課

１．地方公会計について

　　現在の地方公共団体の会計は、予算の適正かつ確実な執行に資する現金主義が採用されています。

　　しかし、現金主義では固定資産、地方債等の状況などの現金が発生しないコストの情報が把握できません。

　　そのため、民間企業でも採用されている発生主義に習った方法で財務書類を作成することにより、現金主義では把握できなかった情報を市民の皆さまに公表し、柏原市の財政状況の透明化に努めます。

２．財務書類の概要について

　　財務書類は、次のとおりです。

　①　貸借対照表（ＢＳ：Ｂａｌａｎｃｅ Ｓｈｅｅｔ）

　　　行政サービスに必要となる資産と、その資産の財源である負債と純資産を表したものです。

　②　行政コスト計算表（ＰＬ：Ｐｒｏｆｉｔ ａｎｄ Ｌｏｓｓ ｓｔａｔｅｍｅｎｔ）

　　　行政サービスに必要となる費用と、その行政サービスによって得られる収益を表したもので、受益者負担でどれだけ賄えているのかが把握できるものとなっています。

　③　純資産変動計算書（ＮＷ：Ｎｅｔ Ｗｏｒｔｈ ｓｔａｔｅｍｅｎｔ）

　　　貸借対照表の純資産の変動（増減）を表したもので、行政コスト計算表の純行政コストがマイナス（△）のときは、その受益者負担で賄えなかった財源の内訳が把握できるものとなっています。

　④　資金収支計算表（ＣＦ：Ｃａｓｈ Ｆｌｏｗ ｓｔａｔｅｍｅｎｔ）

　　　現金の収支を表すもので、柏原市の業務活動、投資活動又は財務活動のどの活動で、どれ程の現金の収支があったのかが把握できるものとなっています。

３．財務書類の相互関係

　　財務書類の貸借対照表、行政コスト計算表、純資産変動計算表及び資金収支計算表は、それぞれ次のとおり連動しています。

　　　　【ＢＳ】　　　　　　【ＰＬ】　　　　　 【ＮＷ】 　　　　　【ＣＦ】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資産 うち  現金  預金  | 負債 |  | 経常費用 |  | 前年度末残高 |  | 業務活動収支 |
| 経常収益 | 純行政コスト | 投資活動収支 |
| 臨時損失 | 財源 | 財務活動収支 |
| 臨時利益 | 固定資産等の変動 | 前年度末残高 |
| 純資産 | 純行政コスト | 本年度末残高 | 本年度末残高 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＋本年度末歳計外現金残高

４．財務書類の対象となる会計

　　財務書類の対象となる会計は、次のとおりです。

　①　一般会計等財務書類

　　　　○　一般会計

　②　全体財務書類

　　　＜特別会計＞

　　　　○　柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）

　　　　○　柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）

　　　　○　柏原市介護保険事業特別会計

　　　　○　柏原市後期高齢者医療事業特別会計

　　　＜公営企業会計＞

　　　　○　柏原市市立柏原病院事業会計

　　　　○　柏原市水道事業会計

　　　　○　柏原市下水道事業会計

　③　連結財務書類

　　　＜一部事務組合・広域連合＞

　　　　○　柏原羽曳野藤井寺消防組合

　　　　○　柏羽藤環境事業組合

　　　　○　藤井寺市柏原市学校給食組合

　　　　○　大和川右岸水防事務組合

　　　　○　八尾市柏原市火葬場組合

　　　　○　大阪府後期高齢者医療広域連合

　　　　○　大阪府広域水道企業団

　　　＜地方三公社＞

　　　　○　柏原市土地開発公社